



西村クリニック便り 第40号



ゴールデンウィークは
カレンダー通りの診察を行っております

発行元
四條畷市楠公 1-14-6
西村クリニック
072-862-3001

かれこれ五十年以上前の事、私が幼少の頃、私の父親はよく山に出かけ仕事をしていたのを思い出します。何でも山にあるくぬぎの木などを伐採して炭焼きをし、その伐採した跡地にたくさんのスギやヒノキを植樹していた様です。

私も弁当持参で父の仕事の手伝いに山に行き、山の湧き水を飲みながら父親と弁当箱を広げて食べていた記憶が今も鮮明に残っています。



そうです。半世紀前にはこうして日本全国いたる所でスギやヒノキがどんどんと植樹されて行きました。そしてその結果現在見られる様にスギ、ヒノキなどの花粉症が国民的な病気となっているのは周知の通りです。



ところが最近とあるラジオ番組を聞いて知ったのですが、このスギやヒノキは害をもたらすばかりではないようです。

半世紀を経て立派に成長したスギやヒノキは新たなベンチャー産業を生み出す源となりつつあるようです。

日本の木材は耐久性にも優れ、虫害を受けにくく、外国にも輸出できるみたいであり、

今や日本の山は宝の山と言っても過言でないとの事でありました。

院長 西村 章



韓国に一人旅をして♡



職員が一人旅してきました
写真のお土産をどうぞ(´▽`)旦

一人旅
道ずれなくても世は情け
院長より

編集後記

先日患者さんの経営するスナックへ
院長と私達兄弟で行きました
♪盛り上がりました♪
患者さんの経営するお店巡りも
多忙を極めてきました(*^-^*)

日本にはペットショップが立ち並びペットブームが続いていますが、裏側では毎年何万匹もの犬や猫が殺処分されている現実があります。炭酸ガスによる窒息死が一般的でその犬や猫の内訳は「迷子」「飼い主やブリーダーによる飼育放棄」が多くを占めているそうです。また「パピーミル」という繁殖のみのために10年以上も狭い檻の中で過ごし繁殖できなくなったら破棄されるなども多く言葉をなくす現状です。日本にもこのようなことを減らそうとする団体が数多く活動しています。ボランティアとして参加したり、物資や募金を継続して行ったり、ふるさと納税や皆さんの支援で殺処分ゼロを維持する市町村もあります。環境省の調べでは大阪府も2009年4113匹の殺処分が2015年には1266匹と7割減となっています。ペットを迎えるということは「一つの命を預かり育てることです」お金や環境だけでなくきちんと全てを確認し責任と覚悟を持つことも必要です。次に我が家に迎える“白”はそんな保護犬を迎えたいと私は思っています。残りの犬生を楽しく愛情いっぱい一緒に過ごしたいです。保護犬はすでに“しつけ”をしている犬も多く生活に溶け込みやすく“ワクチン”や“去勢”の済んでいるペットも多くお世話しやすいです。ペットを購入する前に動物愛護センターや保護犬の譲渡会に行ってみるのもいかがですか

♡運命の出会い♡があるかも知れません(*^▽^*)

<http://www.pref.osaka.lg.jp/doiacenter/doiacenter/>

アニマルハーモニー大阪のHPです ↑ (動物愛護管理センターです)